

ほらーの花巻

2018
11
No.249

光と豊と大地ととも
10th
広域合併10周年

特集

農業まつり





「花巻銀河ブルー」の出荷直前の手入れ作業。良い商品を出荷できるよう、丁寧にこだわって作業を進める



数多くあるビニールハウスから、出荷物を台車に載せて運ぶ



出荷時期を迎えた一面に咲く「シクラメン」

Profile

平成25年4月に就農し、祖父・祖母・父・母と5人で暮らす。「シクラメン」10万鉢や「カーネーション」4万鉢、「リンドウ」4万鉢など鉢花を中心に生産する(有)岩手園芸で働く。JA鉢花生産部会の部会員でもある。モットーは「1日1日を精一杯頑張る」。



キジトラを飼っていて
仕事の合間に
癒されています

趣味・マイブーム
ラーメンを食べる事

週3回はラーメンを食べており、
酢とラー油を入れるのがこだわりです。
最近では、辛めのラーメンに
はまっています。

【コーナータイトルの由来】
「GREEN SOLDIERS」は「グリーンソルジャーズ」と読み、「農
追い人」と併せ、「農業に夢や希望
を持って働く人」という意味を
込めています。毎月、若手農業
者や新規就農者を紹介します。

GREEN SOLDIERS

佐藤 隼

花巻市



ちょっと
いい話

花巻銀河 ブルー®

「花巻銀河ブルー」は、平成27年にデビューしたJAいわて花巻だけで生産するオリジナル品種の鉢植リンドウです。耐暑性に優れ、光沢のある濃い青色や大きく開く花が特長です。

魅力 光沢のある濃い青色や室内観賞で1カ月以上楽しめる期間の長さ、一輪の大きさや一鉢に咲く花数の多さなどが魅力の品種です。

名前の由来 開花した花弁の深い青色と、雄しべ・雌しべの乳白色の群生が星空のように見え、花巻の偉人・宮沢賢治が描いた童話「銀河鉄道の夜」の世界観をイメージできることから名付けました。

出荷時期 鉢植リンドウの需要期は9月の「敬老の日」ですが、花巻銀河ブルーは「最も美しい状態でお客様に届けたい」という生産者の思いから、産地・消費地ともに気温が低下し品種の魅力を最大限に引き出せる10月にこだわって出荷しています。

ぼらーの花巻 CONTENTS

●No.249 / 平成30年(2018)11月号

02 農追い人
GREEN SOLDIERS
04 特集
農業まつり

10 ぼらーのNEWS ●地域の話
12 あぐりネット
13 旬の産直大百科 / ぼらーの広場
14 Information ●理事会だより / 監事会だより
16 風趣点景 ●管内四季だより / 編集後記

代々受け継がれる花栽培
父の背中を追う「継承人」

花巻市にあるビニールハウスを訪ねると、色鮮やかな花々が辺り一面に咲き誇っていた。多種多様な花を栽培し、周年出荷を行っている(有)岩手園芸。代表取締役であり父でもある佐藤巧さんの背中を追い、情熱を燃やすのが長男の隼さんだ。

ビニールハウスは幼き頃の遊び場。物心付いた頃から「花」が身近な環境で育った。そんな隼さんが家業を継ぐ事を考えたのは花巻農業高校在学中の事だ。昭和39年に祖父が設立した農園を引き継ごう。そう思い、千葉大学に進学。花を専攻して2年間学んだのち、茨城県の子世代育成会社で生産を中心に出荷方法や販売などについて実習を積んだ。隼さんは「勉強と経験の多くが今に活かされている」と当時を振り返り話す。

現在もその会社の社員と年に数回会う機会があり、貴重な情報交換の場となっている。

平成25年に帰郷、就農した隼さん。(有)岩手園芸の社員として土入れ・かん水・出荷作業など生産に携わる傍ら、鉢花生産部会の一員として巡回や検討会などの部会行事に参加。JAオリジナル品種の鉢植リンドウ「花巻銀河ブルー」の栽培技術を磨いている。ときには、産地を担う期待の星として市場関係者にプレゼンテーションを実施。品種の魅力をPRしている。そんな隼さんにやりがいを問うと、「お客さんからメッセージが届いたとき」と笑顔を見せる。「とても美しい花。生き生きと咲いています。日々の作業、大変だと思いますが頑張ってください。」丁寧な書き綴られた言葉一つ一つが隼さんを支えている。

隼さんは「早く世代交代できるように経営や営業についても勉強していきたい」と意気込む。将来の3代目の挑戦は始まったばかりだ。

農業まつり

花巻

地域

第20回農業まつり
10月20日(土)・21日(日)
in JA本店イベント広場(花巻市野田)



JAは10月、JA管内各地域で農業まつりを開催しました。生産者と消費者が交流を深め、来場した多くの人たちとともに、爽やかな秋を楽しみました。各まつり会場では、来場した多くの方に楽しんでいただけるよう、各地域の気候風土を活かして育てられた地場産品や地元の特産品を販売。会場は多くの来場者でにぎわいました。

今の特集では、各まつり会場の様子を写真で紹介いたします。

- 1 「ご飯を食べよう！飯炊き名人参上」。51の農家組合がさまざまなオリジナル味付けご飯を羽釜で炊いてお振る舞い
- 2 子どもの健やかな成長を祈る「一升餅背負い」。子どもたちの微笑ましい姿がたくさんみられました
- 3 産地間交流を行っている和歌山県のJA紀の里が旬の農産物を販売



書道パフォーマンス

花巻東高校によるダイナミックなパフォーマンス。実演した書はメインステージに飾られました。



おにぎりコンテスト

3チーム14人が参加し、制限時間内に協力してあこぎおにぎりの工夫を凝らしたおにぎりを作りました。最優秀賞は湯本小学校の「ダイヤモンドスターズ」チームの「トトロの森」に贈られました。



キッズカーニバル



郷土芸能



ミレットマンは、世の中を好き嫌い人間だらけにしようと企む「ヘンショッカー」からみんなを守る花巻のヒーローのことだよ！



4 「三世代ふれあい餅つき大会」では52の白が会場にズラリと並びました。つきたてのお餅はきなこをまぶして来場者に振る舞いました

5・6 4つの保育園や幼稚園が可愛い踊りや太鼓を披露

7・8 JA管内の郷土芸能を披露

9 大人気ミレットマンショー

10 3Rグループの指導で「ちょいかわり」を作る体験コーナー

11 岩手県オリジナル水稲品種「銀河のしずく」試食会には長蛇の列ができました

12 11農家組合が自慢の芸能を披露した「おらほの芸能自慢ショー」

13 農産物販売ではお祭り価格の新鮮野菜や果物が並びました

14 活気溢れる青年部コーナー。今年も「ふっこそば」は大好評でした

西和賀地域

第36回西和賀農業まつり
10月20日(土)
in 西和賀統括センター(西和賀町沢内)



1 午前と午後の2回行われた「日本最大級の餅まき」。その量は、なんと合わせて750kg! 2 西和賀高校吹奏楽部と同町の吹奏楽団「山の音楽隊」によるブラスバンド演奏がオープニングを盛り上げました 3・4 湯本保育園と新町保育所の子どもたちによる可愛らしいお遊戯で会場は笑顔に 5・6 美しい歌声や華麗な舞踊で来場者を魅了した「お楽しみ民謡・歌謡ショー」。中には、中国の伝統芸能「変面」も 7 縄の先に付いている番号札で景品が決まる「ほっぴき大会」。縄を選ぶ子どもたちの表情は真剣そのもの 8 子どもたちが参加した「じゃんけん大会」。同町のマスコットキャラクター「カタクリンコちゃん」が出すのは…? 9 焼き立てを味わえる「ステーキコーナー」。おいしい牛肉に舌鼓 10 そばやうどん、豚汁のほか、各支部の女性部がおにぎりや餅などの加工品を販売 11・12 きなことしょう油、合わせて20kgもの餅振る舞い。会場には長蛇の列が



「西和賀農業賞」表彰式

第36回西和賀農業まつり実行委員会から委嘱された表彰委員会は毎年、まつり会場で農業経営・農業生産・農業生活および組織活動部門などにおいて優秀な成績を収めた個人・団体を表彰しています。

※敬称略(カッコ内は地区名)

【農業経営の部】
川村 和弘・栄子(貝沢)
【地域振興の部】
(農) 高下代表理事
吉田 正志(高下)
【青年農業賞】
大塚 巧太(貝沢)
【女性農業賞】
北村 美喜子(貝沢)

北上地域

第25回北上地域農業祭
10月27日(土)・28日(日)
in 北上支店イベント広場
(北上市流通センター)



1・2 二子さいともを使用した温かい「いものこ汁の振る舞い」を求めて長蛇の列が出来ました
3 雨ニモマケズ頑張る、保育園児たちによるパフォーマンス。会場は笑顔が溢れました
4 北上市が誇るブランド牛「きたかみ牛」を両日合わせて33kgをお振る舞い
5・6 12の農家組合が歌や舞踊を披露した芸能公演
7 迫力満点の「長野獅子踊り」
8 JAの各支店が露店を並べた「テント村」。その中でもネギのつかみ取りは大人気
9 各支店の職員が心を込めたおもてなし
10 青年部は各支部でテントを出し、ホタテなどを販売



【優秀賞】
米・米クラブ(妻川)
ももこチーム(大竹)
【特別賞】
組合長賞
川端農家組合(川端)
シエフ賞
あねちゃーず(後藤)
実行委員長賞
しらゆりの会(鬼柳3区)

おにぎりコンテスト

30農家組合が参加し、具材に工夫を凝らした「おにぎり」を披露。出上がったおにぎりは、来場者に振る舞われました。

※カッコ内は農家組合名
いわさき3区おにぎりーズ
(右崎3区)



第25回JAふれあいまつり 10月6日(土) in 蔵の道ひろば(遠野市中央通り)



- 1 きなことあんこの餅振る舞い。12kgの餅を、JA役員や農家組合長などが来場者に配りました
2 青年部はその場で焼いた熱々のイカを販売
3 女性部は「食堂コーナー」を開設。そばやうどんを提供し、大好評！
4 遠野産のハクサイやダイコン、ニンジン、シイタケなど新鮮な野菜を大特価で販売

釜石市農業祭 10月6日(土) in 青葉通り(釜石市大町)



焼きたての厚切りベーコンの試食販売のほか、釜石産の豚肉を販売



会場では、「ラグビーワールドカップ2019」に関するイベントも開催



開会式で釜石商工高校の生徒が虎舞を披露

JAふれあい農業祭 10月8日(月・祝) in 宮守支店前駐車場(遠野市宮守町)



女性部が釜飯を炊き、炊きたてを「いわて純情むすめ」がお振る舞い



和牛部会はベーコンの串焼きや牛肉を販売。買い求めるお客様で大盛況!



農家組合長たちが餅をつき、つぎたて熱々をお振る舞い

農産物展示品評会

JAでは、農業に対する理解と認識を深め、農業技術交換と生産意欲向上を目的に、農産物展示品評会を農業まつりに合わせて開催しています。本店で行われた「第20回農業まつり」では、4地域から組合員の皆様から丹精込めて育てた自慢の農作物の出品を頂き、盛大に開催しました。受賞者は次の通りです。



米および穀類部門(総出品数168点)

- 最優秀賞・小原斎(石鳥谷東) 玄米・ひとめぼれ
優秀賞・ゆい宮 葛岡英輝(宮野目) 玄米・ひとめぼれ
農事組合法人なべくら(湯口) 玄米・銀河のしずく
農事組合法人なべくら(湯口) 玄米・ひとめぼれ
菊池長悦(遠野) 玄米・いわてこ
田中ナオ子(遠野) ササゲ豆・金時
小原君雄(東和) 玄米・ひとめぼれ
菅原(東和) 玄米・ひとめぼれ
高橋祐也(石鳥谷東) 玄米・ひとめぼれ
内記哲(西和賀) 玄米・あきたこまち
新田庸(遠野) 玄米・いわてこ
継枝利孝(石鳥谷東) 玄米・ひとめぼれ
農事組合法人たちから(宮野目) 玄米・ひとめぼれ
農事組合法人いへ東部銀河(宮野目) 玄米・ひとめぼれ
藤原忠夫(石鳥谷) 玄米・ひとめぼれ
中島賢治(湯本) 玄米・ひとめぼれ

野菜部門(総出品数179点)

- 最優秀賞・農事組合法人HHA泉畑(太田) ビーマン
優秀賞・佐々木賢一(石鳥谷東) ネギ

果実部門(総出品数62点)

- 最優秀賞・浅沼慶宣(東和) リンゴ・ジョナゴールド
優秀賞・多田徹(花巻) リンゴ・ジョナゴールド
布澤文理(太田) リンゴ・ジョナゴールド
古川重勝(矢沢) ブドウ・シャインマスカット
伊藤忠志(石鳥谷東) リンゴ・シナノスイート
市川透(石鳥谷東) リンゴ・シナノスイート
菊池伸也(西和賀) イチゴ・赤い妖精
中島明子(矢沢) ブドウ・シャインマスカット
伊藤タケ(石鳥谷東) 西洋ナシ・ラ・フランス
小原克巳(石鳥谷東) 西洋ナシ・ラ・フランス
能登登芳孝(石鳥谷東) リンゴ・早生ふじ
小原忍(東和) リンゴ・モーレンズ
小原克巳(石鳥谷東) 西洋ナシ・シルバード
菅木繁(東和) リンゴ・ジョナゴールド
菅木武彦(東和) リンゴ・ジョナゴールド
宇都宮邦昭(石鳥谷東) リンゴ・ジョナゴールド

優良賞

- 根子佐恵子(笹間) ミニトマト
佐々木静男(大迫) ナス
佐藤和光(矢沢) カボチャ
高橋ふみ子(北上) サトイモ
藤原孝雄(大迫) ビーマン
佐藤アツ子(矢沢) ビーマン
合澤誠一(東和) ネギ
本館京子(笹間) ブロッコリー
三宅勇造(遠野) ハクサイ
阿部実(遠野) ナガイモ
鈴木茂(北上) トマト
菊池公男(東和) ネギ
悦淵深吉(遠野) ホウレンソウ
佐藤和光(矢沢) タマネギ

優良賞

- 菊池武(北上) シクラメン・ロマネ(5寸)
岩手園芸(矢沢) プリンセチア
小田嶋正一(北上) リンドウ
高橋忠孝(北上) 小菊・みなみ(白)
菅原清志(石鳥谷) リンドウ・フィナーレ
三浦ヌイ(西和賀) リンドウ・アルタ
内記哲(西和賀) リンドウ・風雅
(株)誠花園(湯口) リンドウ・深山秋

花卉部門(総出品数75点)

- 最優秀賞・菊池武(北上) シクラメン・ロマネ(5寸)
優秀賞・岩手園芸(矢沢) プリンセチア
小田嶋正一(北上) リンドウ
高橋忠孝(北上) 小菊・みなみ(白)
菅原清志(石鳥谷) リンドウ・フィナーレ
三浦ヌイ(西和賀) リンドウ・アルタ
内記哲(西和賀) リンドウ・風雅
(株)誠花園(湯口) リンドウ・深山秋

特産品部門(総出品数24点)

- 最優秀賞・佐藤サキ子(矢沢) 菌床シイタケ
優秀賞・佐藤恵(矢沢) 菌床シイタケ
佐野泰彦(遠野) 菌床シイタケ
佐藤洗樹(矢沢) 菌床シイタケ
菊池康夫(東和) 菌床シイタケ
金沢富一(東和) 菌床シイタケ
金沢ワカ子(東和) 菌床シイタケ

北上地域農業祭農産物共進会

「第25回北上地域農業祭」で行われた農産物共進会では、北上市内から組合員の皆様から腕によりをかけた農作物を出品頂きました。受賞者は次の通りです。

野菜の部(総出品数81点)

- 最優秀賞・及川律子(二子) サトイモ
優秀賞・高橋ふじゑ(藤根) ネギ
優良賞・瀬川武彦(二子) トマト

果実の部(総出品数28点)

- 最優秀賞・八重樫勝利(更木) リンゴ・陽光
優秀賞・昆野勇夫(口内) リンゴ・ジョナゴールド

花卉特産の部(総出品数64点)

- 最優秀賞・菊池徳人(村崎野) シクラメン
優秀賞・石川聖孝(横川目) 菌床シイタケ

穀類の部(総出品数27点)

- 最優秀賞・千田鈴子(更木) 玄米・ひとめぼれ

「シャインマスカット」で新作菓子 オリジナルスイーツ発表会



花巻産シャインマスカットを使ったオリジナルスイーツ発表会

J Aや花巻市、県などで組織する花巻市農業振興対策本部は10月5日、ブドウ「シャインマスカット」を使ったオリジナルスイーツ発表会を開きました。

同市内の菓子店8店舗のゼリーやタルトなどが並び、公募で集まった10組20人が旬の味覚を味わいました。参加した阿部梨紗さん(26)は「粒が大きく食べ応えがあり、見た目もきれい」と話しました。

「シャインマスカット」は強い甘みとマスカット香があり、種なしで皮ごと食べられる品種。平成30年は同市内で24ha、49人が作付けしました。今後も生産拡大が見込まれています。

介護・糖尿病予防について理解深める 和賀町支店で「JAふれあい健康セミナー」

和賀町支店は10月15日、地域活性化の実現に向けたくらしの活動の一環として「JAふれあい健康セミナー」を同支店(北上市和賀町)で開きました。

組合員や地域住民など24人が参加。小規模多機能ホームえんでの小原千恵子所長から介護サービスと介護施設について聞き、介護サービスの利用手順や種類などについて理解を深めました。J A岩手県厚生連の津川雅恵さんは糖尿病予防について講話したほか、簡単な健康維持体操を紹介。参加者全員で実践しました。

参加した男性は「体操が参考になった。今後の生活に取り入れたい」と話しました。



健康維持体操を実践する参加者たち



稲刈りとジャンボのりまきに挑戦 ちゃぐりんスクール全コース合同で開催

J Aは食農教育事業「ちゃぐりんスクール」を学年別にプログラムを設定して行っています。今年度の第5回目となる10月6日は、1〜6年生までの全コース合同で実施し、参加者全員で出来秋を感じました。

今回のテーマは、色いろの「しょく」と、食べるの「しょく」。5月に1〜2年生とその保護者が「ちゃぐりんスクール体験田」8aに手作業で植えた「ひとめぼれ」の稲刈りを、児童や保護者、スタッフなど、総勢約130人で行いました。児童たちは、J A職員から鎌の使い方や稲の刈り方について説明を受けてから田んぼに入りました。雨後の田んぼだったため、泥だらけになりながら鎌を引き、稲刈りを体験しました。



1 一生懸命稲を刈り取る児童
2 女性部に教わりながら具を並べる児童たち
3 完成した23mジャンボのりまき!

ることができました。完成した23mのジャンボのりまきを一齐に持ち上げ、児童たちは驚きと笑顔を見せました。完成後は女性部が作った豚汁と一緒に全員でおいしくいただきました。

児童たちからは「鎌を使って、稲刈りをするのが楽しかった」「ジャンボのりまきは具が飛び出ないように、巻くのが大変だった」という感想が上がりました。



三世代で稲刈り交流 上郷小学校5年生が体験



稲の束ね方を教わる児童

上郷支店は10月15日、遠野市立上郷小学校の5年生16人やJ A職員、地域の農家、児童の祖父母と共に、三世代での稲刈りを行いました。

同日は、5月に菊池正則さんの田んぼ8aに、児童が手作業で植えた「ヒメノモチ」の稲刈りとはせがけを体験。横澤優良さん(11)は「自分で植えた苗がこんなに大きくなってうれしい」と笑顔を見せ、菊池さんは「継続は力なり。これからもほ場を提供し、子どもたちに農業の素晴らしさや大変さを体験させたい」と話しました。

収穫した米は、同校の収穫祭で振る舞うほか、夢産直かみごうで販売体験を11月下旬に行う予定です。

実りの秋到来 大迫保育園がサツマイモ収穫体験



一生懸命サツマイモを収穫する園児

花巻市大迫町の鶴尾集落は10月1日、大迫保育園児を招き、サツマイモの収穫や焼き芋作りを行いました。

この活動は、園児との交流で地域の活性化を目指すと同集落が毎年実施しています。同日は20人の年長児たちが畑に入り、土を掘り起こしたり、つるを引っ張ったりして収穫。収穫後は集落の方が用意した焼き芋を味わい、「甘い」「おいしい」とほ場は園児たちの楽しげな声が響きました。

藤館心咲ちゃん(6)は「初めてで楽しかった。自分で掘ったサツマイモを食べるのが楽しみ」と笑顔を見せました。同集落の菊月眞一代表は「台風が心配だったが、無事に収穫体験ができた子どもたちの笑顔が見れてよかった。自分で掘ったものを食べ、少しでも農業に興味をもってくれたら嬉しい」と話しました。



農産物直売所 母ちゃんハウスだあすこ

花巻黒ぶどう牛 精肉販売を開始!

農産物直売所「母ちゃんハウスだあすこ」は、花巻産ブランド牛「花巻黒ぶどう牛」の精肉販売を「第20回農業まつり」に合わせて、10月20日から始めました。「花巻黒ぶどう牛」の常設販売は初めてとなり、同店舗では以前から販売しているJA管内の飼料用米を食べて育った豚「茶美豚」と合わせ、当JAに関するブランド牛・豚を取り扱っています。「花巻黒ぶどう牛」は、ブドウの絞りかすを給与した黒毛和種。花巻市内の肥育農家が肥育している貴重な牛肉で、さらりとした脂と豊かな風味が特徴です。



名前の由来	基準
「花巻黒ぶどう牛」の「黒ぶどう」は、花巻の偉人・宮沢賢治の寓話「黒ぶどう」からいただき、名付けました。	①花巻市内の肥育農家で肥育された黒毛和種の牛肉であること。 ②(株)エーデルワインが製造した、ブドウの絞りかす飼料を肥育期間中に「日量300g以上、3カ月以上」給与したものであること。 ③枝肉格付で3等級以上であること。

「花巻黒ぶどう牛」ができるまで



ぼらーの広場

ぼらーの広場は、読者の皆様との交流の場です。皆様からテーマにちなんだお便りを募集し、紹介しています。

今月のテーマ 嬉しかった言葉

孫に「おばあちゃんの周りってすごい人ばかりいるよね」と言われました。その人々を孫にも伝えていきたいです。(北上市・かすみ草)	「母さん来ないから緊張したよ」と、中学校野球部投手の息子が私にいった言葉。息子はもう39歳。(花巻市・瞬バーちゃん)	家が隣の幼なじみが、私のことを「隣じゃなかったらほっとかない」と言っていたと聞いて嬉しかったです。(花巻市・キュン)
孫娘に「ばあちゃんの漬物が食べたくなったから送って」と言われ嬉しくなりました。頑張って作ろうと気が入りました。(北上市・もちもち)	家庭での心配事が重なったとき「苦するな」とだけ言われた一言が忘れられませんでした。肩の重荷がスッと軽くなりました。(花巻市・M.I)	「先生、あのね。」日々の悩みを担任の私に話そうとする時の子どもの一言が自分を頼りにしてくれている証。(北上市・UFO)

投稿を頂いた方の中から抽選で、今月は

花巻りんごジュース

をプレゼント!

来月のテーマ(1月号掲載)「2019年の抱負」応募締切/12月10日(月)消印有効

テーマにちなんだエピソードを募集します。今年もそろそろ終わりですね。来年への意気込みをお送りください。
 応募方法: ①テーマにちなんだお話②郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号③ペンネーム④JAや広報誌に関するご意見・ご感想を記入の上、はがきまたはメールにてご応募ください。右記のQRコードからのご応募もできます。
 ※投稿頂いた中から内容を誌面に掲載させていただきます。ペンネームが無い場合はイニシャルでの掲載になります。
 ●はがき: 〒025-8504 花巻市野田 316-1 JAいわて花巻組織広報課「ぼらーの広場」宛
 ●メール: polano@jahanamaki.or.jp ●当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。
 5名様にプレゼント!
銀河のしずく(3kg)
 JAいわて花巻 応募フォーム
<https://www.jahanamaki.or.jp/entry/index.php>

園芸 「二子さといも」がGI登録!ブランド力強化へ

◆**県内4件目の登録**
 北上市二子地区を中心に栽培している「二子さといも」は9月27日、地理的表示(GI)法に基づき農林水産大臣登録第68号としてGI登録されました。
 GI保護制度は、農林水産物や食品のうち、名称から産地が分かり、品質や特性が産地と結び付いているものを知的財産として保護する制度。「二子さといも」は県内で4件目の登録で、農産物では初めてとなります。
 登録に向け、平成29年6月に生産者や県、北上市、JAなどで構成する二子さといも協議会を設立。同年8月に国へ申請しました。国に認められた地域ブランドの証であるGIマーク品であることを広くPRするため同協議会では今後、包装資材への印刷やパンフレットへの掲載を行い、知名度向上やブランド力の強化に取

り組みます。
 同協議会の小原富美雄会長は「登録に向けて準備を進め、実際に登録されて嬉しい。GI登録後の消費者の反応が楽しみ」と話しました。

◆受賞を報告

小原会長などは10月18日、本店を訪れ、阿部勝昭組合長にGI登録について報告しました。阿部組合長は「登録により機運が高まった。今後も生産維持・拡大できるようJAもサポートしていく」と力強く話しました。



畜産 JA管内の生産者が活躍中!

◆**第62回岩手県畜産共進会黒毛和種の部**
 9月26日に中央家畜市場(岩手郡雫石町)で開かれ、県内から73頭が出品。6つの区分で審査し、各区の1~3等賞を表彰しました。JA管内から多数の方が入賞しました。
1等賞
 【第1区】菊池皓太さん(北上市)
 【第3区】(有)すぐね 鈴木貞裕さん(花巻市)
2等賞
 【第4区】立川目勝さん(花巻市)
 【第4区】川村茂樹さん(花巻市)
 【第4区】鎌田壮昭さん(花巻市)
3等賞
 【第1区】高橋華絵さん(花巻市)
 【第1区】多田 恵さん(遠野市)

【第2区】高橋政吉さん(花巻市)
 【第2区】佐々木忍さん(遠野市)
◆功労者表彰
 9月26日に中央家畜市場(岩手郡雫石町)で開かれ、当JAからは2人が表彰されました。
【登録事業功労者表彰】
 小原勝男さん
 いわて和牛中央育種組合育種推進委員長として、鳥取系を中心とした育種・改良に努めたことなどが評価されました。
【会員農家特別表彰】
 高橋政吉さん
 東日本共進会や岩手県共進会に出品し、優秀な成績を収め良牛生産に尽力。また和牛部会のリーダーとして、地域和牛振興に貢献したことなどが評価されました。

各グリーンセンター定休日

	11月の定休日	12月の定休日	営業時間
花巻	11/4(日)・11/18(日)	12/2(日)・12/16(日)	8:30~17:00
石鳥谷	11/10(土)・11/24(土)	12/8(土)・12/22(土)	
大迫	土・日・祝日	土・日・祝日	
東和	11/3(土)・11/17(土)	12/15(土)	
北上	11/11(日)・11/25(日)	12/9(日)・12/23(日)	
西和賀	土・日・祝日	土・日・祝日	
遠野	11/10(土)・11/24(土)	12/8(土)・12/22(土)	

●お問い合わせ先: 営農部生産資材課 ☎0198-22-6192 または、最寄りのグリーンセンターまで



ウィンターキャンペーン 2018

平成30年 11月1日(木) ▶ 12月28日(金)

新規で始めるなら
今がチャンス!

定期貯金の
新規預入

または
定期積金の
新規契約

10万円以上
継続時増額10万円以上

ちょリス
マルチケース
先着でプレゼント



県内合計 **15,779**個

50万円以上
継続時増額50万円以上



先着で **金色の風・銀河のしずく**
3合パック 3合パック

30年産新米 セットでプレゼント!

純産地いわて **30th**
みんなでいでの味を味わおう。

先着で **30万円以上**
継続時増額30万円以上

金色の風 3合パック・銀河のしずく 3合パック

先着で **どちらかプレゼント!**

県内合計 **11,098**個

さらに
チャンス!

定期貯金・定期積金の新規ご成約と同時に /

JAカード 公共料金

JAネットバンク カードローン

上記のうち1つ以上新規お申し込みで!

ちょリス ポケッタブルポストン

先着で **プレゼント**



県内合計 **11,098**個

〔先着プレゼントについて〕
●新たに定期貯金(自動継続)または定期積金を10万円以上ご成約された方、ご継続の場合は10万円以上増額された方に先着で「ちょリスマルチケース」をプレゼントいたします。●新たに定期貯金(自動継続)または定期積金を50万円以上ご成約された方、ご継続の場合は50万円以上増額された方に先着で「金色の風 3合パック」(銀河のしずく 3合パック)をプレゼントいたします。また新たに定期貯金(自動継続)または定期積金を30万円以上ご成約された方、ご継続の場合は30万円以上増額された方に先着で「金色の風 3合パック」または「銀河のしずく 3合パック」をプレゼントいたします。●個人の方に限りさせていただきます。●定期貯金の預入期間は1年以上とさせていただきます。●賞品がなくなり次第終了とさせていただきます。

〔さらにチャンス!〕
●新たに定期貯金(自動継続)または定期積金を10万円以上ご成約された方、ご継続の場合は10万円以上増額された方、キャンペーン期間中にJAカード・公共料金の口座振替、JAネットバンク・カードローンの申し込みを1つ以上お申し込みいただいた方に先着で「ちょリスマルチケース」をプレゼントいたします。●公共料金は、電気料金、ガス料金、水道料金、NHK受信料、電話料金が対象となります。●個人の方に限りさせていただきます。●定期貯金の預入期間は1年以上とさせていただきます。●賞品がなくなり次第終了とさせていただきます。

みんなの力で
JAバンク岩手
JAバンク岩手 株主
がんばらう岩手

結びつき強化! 「くらしの活動大会」を開催

地域コミュニティの維持と活性化を目指し、「くらしの活動大会」を開催します。

- 日時 12月1日(土) 午後1時開始
※受付は午後0時30分から
- 場所 JA総合営農指導拠点センター
(花巻市野田335-2)
- 参加対象者 組合員・地域住民
- 内容 記念講演
タレント 島田洋七氏
- 入場料 1,000円
- 募集人数 定員…150人
※定員になり次第締め切ります
- お申込み・お問い合わせ
最寄りの支店管理課
または企画部組織広報課まで
☎0198-29-4011

わいわい子育てフリースペース みんなでたのしくあそぼう!

JAでは子育て中の女性とその家族の皆さんが気軽に集まれる憩いの場として、毎月第4金曜日に「わいわい子育てフリースペース」を開設しています。

- 日時 11月16日(金)午前10時～正午
※11月は第4金曜日が祝日のため第3金曜日となります。
- 内容 ミニ収穫祭
旬の野菜がもりだくさんのひつまみを食べよう
- 参加費 300円
- 場所 農協野田神社「洗心館」
(JA本店北側隣り)
- お問い合わせ
企画部組織広報課
☎0198-29-4011

愛車の保障は JA 共済にお任せあれ!

これからの時期、早い夕暮れや、降雪や気温の低下による路面の凍結など、運転にはより一層注意が必要です。また、事故が多発するもこの時期です。

車両共済(全損害担保)加入の場合は、以下のような事に遭遇してもバッチリ保障します!

- ☆スリップしてガードレールに衝突した
- ☆走行中に動物(シカやタヌキ)と衝突し破損した
- ☆当て逃げされた
- ☆無保険の相手に賠償してもらえない
- ☆車を盗まれた



愛車への保障を今一度見直し、
車両共済への加入を検討してみてもいかがでしょうか?

●お問い合わせ: 最寄りの各支店共済窓口まで

- 理事会だより

次の議案について審議され、全議案議決されました。

第9回理事会 開催日: 10月26日(金)

■決議事項

 - 第1号議案 固定資産(東和園芸センター土地)の取得について
 - 第2号議案 2億円超の信用の供与等の決定について
 - 第3号議案 米穀共同計算委員の選出について

●監事会だより

次の事項について協議されました。

第9回監事会 開催日: 10月26日(金)

■協議事項

 - (1) 平成30年度上半期仮決算監査報告書の作成について
 - (2) 予備調査を依頼する会計監査人候補者について

組合員の皆様へ

JAの自己改革に関する組合員アンケートを実施します

アンケートご協力をお願い

JAグループは「農業者の所得増大・農業生産の拡大」「地域の活性化」「結びつき強化」の3つの基本目標を掲げ、地域農業の振興や地域づくりに向けた自己改革に取り組んでいます。

JAいわて花巻では、この度、より一層組合員の皆様の負託に応えるため、自己改革の取り組みに対する皆様の評価をお伺いする「組合員アンケート」を右記の通り実施いたします。

組合員の皆様からいただいた評価が、今後、政府が行う農協改革におけるJA事業のあり方の検討においても重要となります。

誠に恐縮ではございますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、何卒ご協力いただきますようお願い申し上げます。

■期間
平成30年12月～平成31年2月

■対象者
組合員(世帯ではなく個人を対象実施)

■内容・注意点

- ① JA職員が組合員宅を訪問し、アンケートの趣旨をご説明いたします
- ② 個人情報(氏名・住所)等の調査項目はありません
- ③ 契約を勧めたり、金銭を要求することはありません
- ④ 不信と思われるときは、すぐにJAまでお問い合わせください

※「役員室より」はお休みです。

風趣点景

管内四季だより ③②



遠野市土淵町山口集落にある茅葺の水車小屋。「遠野遺産第九号」に指定されています。遠野の農村風景を象徴する建物の一つですが、老朽化が進み、28年春に修復されました。

新しい水車小屋はふき替えられ外壁もきれいになっています。水車本体は歴史を刻んできた古き水車のようにみえます。

改修された新しい水車小屋。これからも、地域の文化的景観のシンボルとして末永く後世に伝えてください。

「未来への遺産」

遠野市土淵町（山口の水車小屋）

写真・文／高沢 翔(西和賀町沢内)

西和賀町をメインに風景写真を撮っている写真家。

ホームページ「高沢翔写真館」<http://shou.eek.jp>

撮影データ(デジタルカメラ)	2016年12月上旬
ISO感度：400	絞り：f22
	露出補正：-0.7



10月には各地域で、農業まつりが開催されました。今年の本店での農業まつりは好天に恵まれ、多くの皆さまにご来場いただき大盛況に終わることができました。また来年も、楽しみにしててくださいね。このイベントが終わると季節は冬へと移行します。周囲の緑が、赤や黄に色づき、銀世界へと変わっていきます。10月29日には若手山の初冠雪の便りが届きました。日没も早まり、朝晩の冷え込みも強くなるので冬への備えを万全にしましょう。「木村」

先日「小岩井農場の一本桜」で星空の写真を撮影してきました。現地に到着し車を降りると、暗闇の中に数人の人影が…。声を掛けると、聞き慣れない言葉が返ってきた。「そう、そこにいたのは外国人。家族でシンガポールからやってきたという。片言の英語とスマートフォン翻訳機能を使い少し話した。旅行で東北を巡っている事、私が趣味で風景を撮影している事。県内で撮影した写真を見せると、「beautiful」と、どれも感動していた。日本の自然や四季の素晴らしさに改めて気付かされた、満天の星空にも劣らぬ素敵な出会いだった。「佐藤



編集後記

From Editor's

